

福島第一原子力発電所の滞留水の水位・移送、処理の状況について（7月14日18時現在）

		1号機	2号機	3号機	4号機
滞留水の水位 (7月14日16時時点)	トレンチ立坑水位	水位低下に伴い、測定できず (O.P.+ 850 mm未満)	O.P.+ 3,336 mm (7月14日7時から12 mm上昇)	O.P.+ 3,383 mm (7月14日7時から1 mm下降)	
	タービン建屋水位	O.P.+ 3,098 mm (7月14日7時から71 mm下降)	O.P.+ 3,259 mm (7月14日7時から10 mm上昇)	O.P.+ 3,281 mm (7月14日7時から3 mm下降)	O.P.+ 3,267 mm (7月14日7時から3 mm下降)
	原子炉建屋水位	O.P.+ 4,705 mm (7月14日7時から18 mm下降)	O.P.+ 3,478 mm (7月14日7時から6 mm上昇)	O.P.+ 3,402 mm (7月14日7時から4 mm下降)	O.P.+ 3,273 mm (7月14日7時から変化なし)
	集中廃棄物処理施設 における各建屋の水位	プロセス主建屋 高温焼却炉建屋 サイトバンカ建屋	O.P.+ 4,467 mm (初期値からの増加量5,684 mm, 7月14日7時から3 mm上昇) O.P.+ 3,615 mm (初期値からの増加量4,341 mm, 7月14日7時から73 mm上昇) O.P.+ 4,446 mm (床面からの水位650 mm, 7月14日7時から1 mm上昇)		
滞留水の移送状況	1号機	2号機	3号機	4号機	
	1号機タービン建屋地下 2号機タービン建屋地下 移送実施中 (7月14日10時39分～)	2号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設(高温焼 却炉建屋) 移送実施中 (7月12日10時43分～)	3号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設(高温焼 却炉建屋) 移送実施中 (7月12日10時31分～)		
	5・6号機				
水処理設備の運転状況	セシウム吸着装置 : 6月21日12時05分～ 停止中 第二セシウム吸着装置(サリー) : 7月11日14時17分～ 運転中 淡水化装置(逆浸透膜)* : 水バランスをみて断続運転 淡水化装置(蒸発濃縮) : 水バランスをみて断続運転				
その他特記事項	* 6月23日午前10時15分頃、淡水化装置(逆浸透膜)2において、水処理するための高圧ポンプグランド水を受けるポリタンクから水が溢れていることを、当社社員が確認。溢れた水は約6.6リットルであり、同装置の堰内にとどまっており、建屋外への流出はない。同日午前10時30分、淡水化装置(逆浸透膜)2を停止し、当該ポンプを隔離。水たまり付近の雰囲気線量率および水たまりの表面線量率はガンマ線、ベータ線ともに0.1mSv/h未満。その後、漏えいした水をサンプリングした結果、ヨウ素131が検出限界未満(検出限界値: $7.0 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$)、セシウム134が $2.6 \times 10^0 \text{Bq/cm}^3$ 、セシウム137が $3.9 \times 10^0 \text{Bq/cm}^3$ 、全ベータが $9.0 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3$ であった。7月13日、当該ポンプのグランド部の修理(部品交換)および隔離していた系統による試運転を実施し、運転状態に問題がないことを確認したことから、本格運用に移行。				

水位についてはデータとして速やかに提供させていただく観点から、参考値としてお知らせさせていただいております。